

# 案件事例(1-4)

## 損益改善支援－多品種少量生産における在庫低減事例－

### 【案件概要】

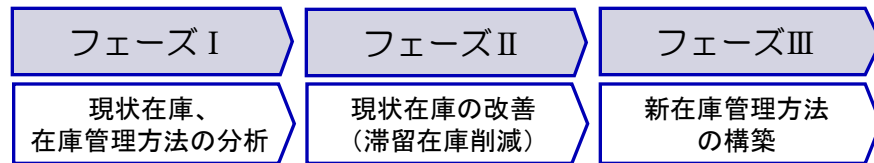
#### 1. 会社概要

事業内容 : 瓶製品の製造販売  
 業績(着手時) : 売上高 7,381百万円 経常利益 △195百万円  
 自社工場 : 関東地方に1工場

#### 2. 会社様のニーズ・課題

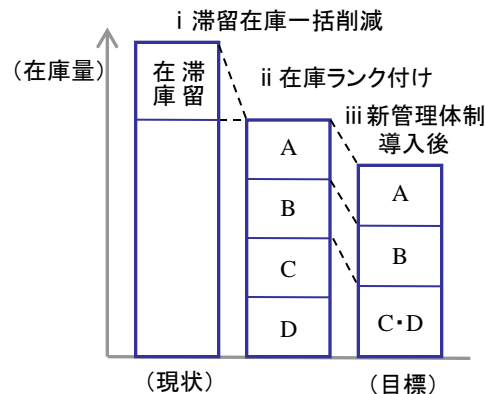
- 製品別に在庫管理をしておらず、在庫総額の増減を追うレベルの在庫管理しかしていなかった。在庫総額を減らすことを目標として、製品別の指標を見ていなかったため、欠品のリスクを抱えていた。
- 自社倉庫がなく、多額の保管料が発生していた。

### 【役務提供内容】



- |                               |                                   |                                      |
|-------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------------|
| 1.現状の在庫内容を分析し、課題を抽出           | 1.在庫滞留の原因を調査、分析                   | 1.在庫管理フローのあるべき姿の構築                   |
| 2.現状の在庫管理フローを調査し、課題を抽出(ルール調査) | 2.当社に適合する基準に基づき滞留在庫を定義し、一括削減を実施する | 2.在庫のランク分け管理手法の導入(製品別に在庫量を評価する指標を導入) |

### 【改善施策の概要】



在庫ランク付け

製品名	①売上量	②ばらつき	③依存度	ランク
〇〇	2	1	1	A
△△△	2	5	5	C

- 滞留在庫の一括削減**
  - 在庫回転期間を基準とし、滞留在庫リストを決定し一括削減を実施
- 多品種少量生産に適する在庫の管理指標導入**
  - 評価指標を以下の軸で定義し、製品を点数評価し、在庫にABCDランク付けを実施する
  - ①月次平均売上数量
  - ②月次売上数量のバラつき
  - ③取引先依存度
- 在庫の新管理体制構築**
  - 安定かつ大量受注製品(A・Bランク)は一定の在庫を保持し、少量かつ販売頻度が低い製品(C・Dランク)は、受注生産

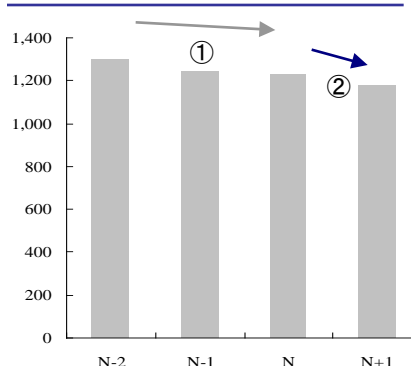
### 【成果・効果】

#### 業績の推移

(単位:百万円)

指標	X期	X+1期
売上高	7,381	7,365
営業利益	△188	107
経常利益	△195	84

#### 在庫水準の推移



#### ・在庫削減によるコスト削減効果

- 当社自身の取組みにより年に2%削減
- 左記の改善施策を通じた、約7%の在庫削減を実現

(X+1)期の改善効果  
 在庫削減金額 : 約50百万円 (約450万本)  
 保管料削減額 : 年約5百万円

#### ・新管理体制の導入効果

- 売上頻度が多く、ロットの大きい製品の在庫多く持つことで欠品リスクを極小化
- 滞留在庫や過剰在庫が自然増加しない状態へ
- 生産計画作成方法変更に伴い生産効率の改善も実現